

15.10.23

第3種郵便物認可

# 在宅勤務のススメ

## 横須賀商議所 女性対象に講座

えた計器を市内200世帯に設置し、自動検針の実用化に向けた課題を検証する。使用量を細かく把握し公表する「見える化」を進めることで市民の節水意識の向上につなげたい考えだ。

は同日の定例会見で、「詳細な使用量データは(将来の)施設整備に向けた検討材料になる。検針委託料が抑えられるなど、水道事業のコスト削減に期待したい」と述べた。

同社の基地局と市内の一戸建て住宅に設置したスマートメーターを専用の無線通信で結び、各世帯ごとの使用水量データを取得。1日ごとの細かな使用量や最

を担い、メンバーが参加者を増やしていく。お母さん大学横須賀支部代表の田中清美さんは「1人でなく、グループでやるのことに意義がある。仕事だけでなく、子育てとか生活とかを含め、つながっていきけるような仲間をつくっていききたい」と話す。

横須賀商工会議所(横須賀市平成町)は主婦や子育て世代の女性を対象に、インターネットを通じて不特定多数に仕事を発注する「クラウドソーシング」の活用を支援する実証プロジェクトを始めた。講座を通じて仕事の受け手を育成し、在宅勤務(テレワーク)の普及を目指す内容。人口減を食い止める一手として、地域の女性に新たな働き方を提案する。

(織田 匠)

### 「クラウドソーシング」活用支援

クラウドソーシングは、インターネット上に仕事やアイデアを掲示する新しい働き方。時間と場所にとらわれないため、フリーランスや主婦、学生の副業としても注目されている。

イテイング、データ入力など幅広い仕事を仲介しているクラウドソーシングサービス大手、クラウドワークス(東京都渋谷区)が、参加者を基礎から指導している。

プロジェクトは、子育て世代向けに「月刊お母さん業界新聞」を発行している「お母さん大学横須賀支部」のメンバーの協力を得て、同商議所が9月から始めた。さまざまな業種の企業から依頼を受けてホームページ作成やウェブ開発、ラ

講座ではクラウドソーシングの仕組みや契約の実情などを説明。自身の技能に合った仕事を実際を探して受注するまでの実技にも挑み、ノウハウを得てもらった。現在は7人程度が参加。来年2月までのプログラムを終えた後、地域への普及



インターネットを使ったクラウドソーシングに取り組む参加者 横須賀商工会議所

横須賀では人口減を防ぐために、女性の働き方の選択肢を増やすことも地域の課題となっている。同商議所の担当者は「いわゆる内職のようなもので1人でもできる仕事だが、横須賀の地域を核にして、ネットワークを活用して在宅勤務を広げていくのが目的」と期待している。

## 三浦市 2060年人口

三浦市は、昨年11月に施行された「まち・ひと・しごと創生法」で策定を求められている「人口ビジョン・総合戦略」の最終案をま

縮むまちで 課題と模索